

第 51 回全国高等学校選抜卓球大会（シングルス 2 部）広島県予選 競技上の注意

審判長 中元 孝司

1. ルールは現行の日本卓球ルールを適用します。

- (1) タイムアウト制を採用します。1 マッチにつき 1 回、1 分以内を厳守してください。ゲーム間も 1 分以内です。試合方式は 11 点の 5 ゲームスマッチ。チェンジエンドも行います。
- (2) ボールは、公認のニッタク、ビクタス、バタフライのいずれかを選択できます。希望メーカーが異なる場合は、じゃんけんで決定し、審判が本部席まで交換しに来てください。
- (3) 競技用ユニフォームは（公財）日本卓球協会公認のマークのついたものを着用してください。広告入りのシャツは着用できないものがありますのでご注意ください。
- (4) ゼッケンは今年度の（公財）日本卓球協会のものを必ず着用してください。
- (5) プレーとプレーの合間が長くならないように気を付けてください。

2. アドバイザーについて

- (1) 男女ともベスト 16 決定（2 回戦）よりアドバイザーのベンチ入りを認めます。服装は白を基調とするものは避けてください。
- (2) アドバイザー用のイスは本部席横に置いてあるので、そこから運んで、使用後は元の位置の返却して下さい。

3. 進行について

- (1) 対戦表に従って、男女決勝まで行います。男子は 9 ～ 16 コート、女子は 1 ～ 8 コートを使用します。第 1 試合のコート割と審判割は別紙「第 1 試合の台割」で確認してください。
- (2) 当日棄権があったコートは、別紙「第 1 試合の台割～棄権の選手が出た時の次の試合～」に沿って行います。
- (3) 第 2 試合目以降、放送によりコールしますが、3 回戦以降勝ち残っている選手は、すぐ試合に入るようにフロア横に待機しておいてください。

4. 審判について

- (1) 第 1 試合は、別紙の表の通り 1 名で行ってください。試合終了後、結果を両選手に必ず確認してもらい間違いがなければ、バインダーごと本部まで持って来てください。
- (2) 第 2 試合目以降から決勝まで敗者審判となります。準決勝と決勝は審判 2 名体制とします。
- (3) ルールで決められた時間の計測は、備え付けのストップウォッチを利用して測ってください。

5. その他

- (1) 本大会の男女優勝者は令和 6 年 3 月 21 日（木）～ 24 日（日）山形県総合運動公園で行われる全国高等学校選抜卓球大会（シングルス 2 部）の広島県代表となります。
- (2) ルール、進行等についてご不明な点は、審判長に問い合わせてください。

以上